

沖縄とコロナ (失った観光関連収入)

10月③のごあいさつ

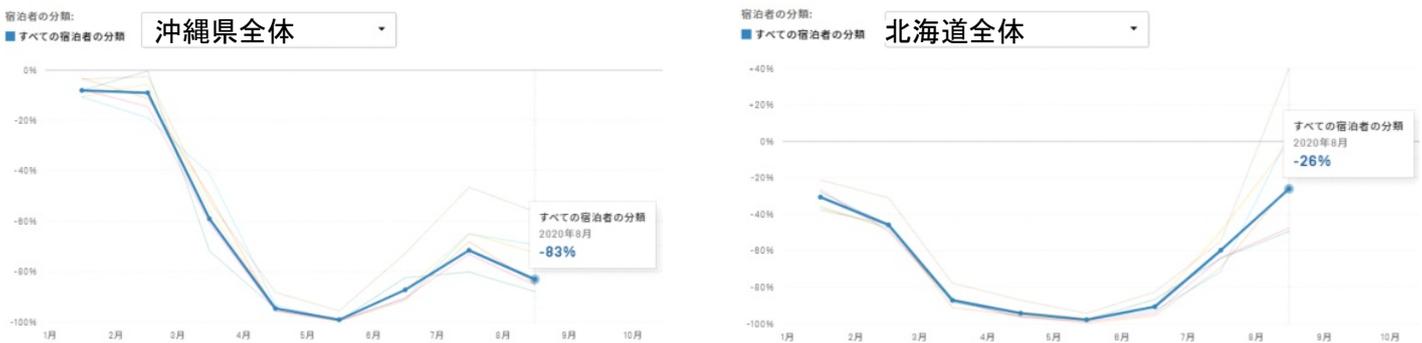
山内公認会計士事務所

2020年10月20日(火)

(沖縄県の場合)

沖縄県の宿泊客数、飲食客数の回復が全国と比べて遅いようだ。V-RESASで見ると、2020年8月現在で、沖縄県における宿泊客の現状は△83% (回復率17%)、北海道の現状は△26% (回復率74%)となっている。

飲食については、沖縄が9月第2週で54%に対し、北海道は84%である。



日本の北と南の観光地で大きな差があるのは何故だろうか。

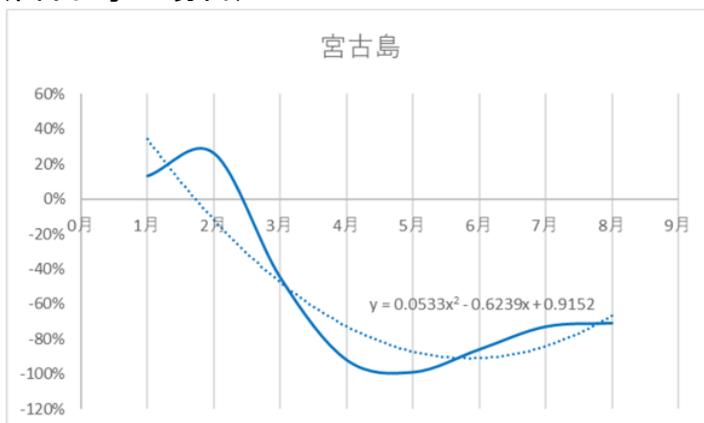
この間(3月~8月)宿泊客数から見て、失った沖縄県の観光産業収入を上記のグラフから概算した

2019年観光収入 年間7,047億円から6ヶ月分は、3,524億円と仮定して二次曲線の概算式 $y = 0.0411x^2 - 0.480x + 0.4732$ により概算すると2020.3~8に失った観光収入は平均△82.5%となる。

この間の喪失額は、3,524億円×△82.5%=△2,907億円と換算できる。

沖縄県は、喪失率△82.5%であり、この6ヶ月間で観光収入の△2,907億円を失ったことになる。

(宮古島の場合)



年月	沖縄県	宮古島
1月	-8%	13%
2月	-9%	26%
3月	-59%	-45%
4月	-95%	-92%
5月	-99%	-99%
6月	-87%	-86%
7月	-72%	-73%
8月	-83%	-71%
1~8計	△512%	△427%
月平均	△64%	△53%

平均 82.5

平均 77.7

沖縄県全体と較べて宮古島の影響度は若干少ないようだ。